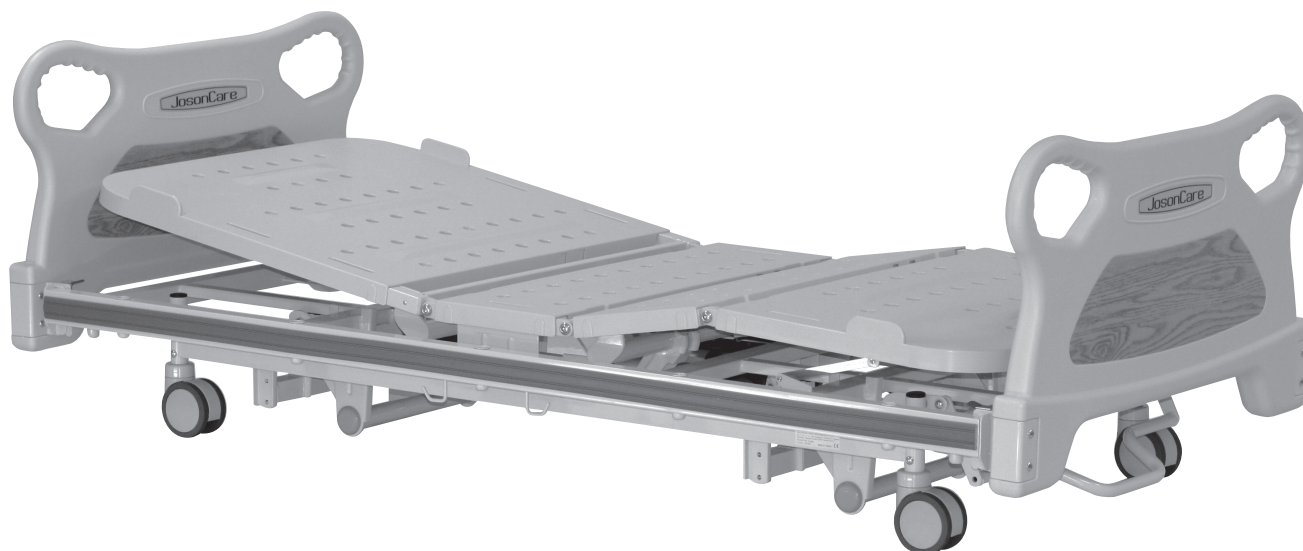


取扱説明書

B-LJ-2380T
B-LJ-2380
B-LJ-2380TW
B-LJ-2380W

ジョーソンケアベッドシリーズ



まえがき

この度はジョーソンケアベッドシリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。

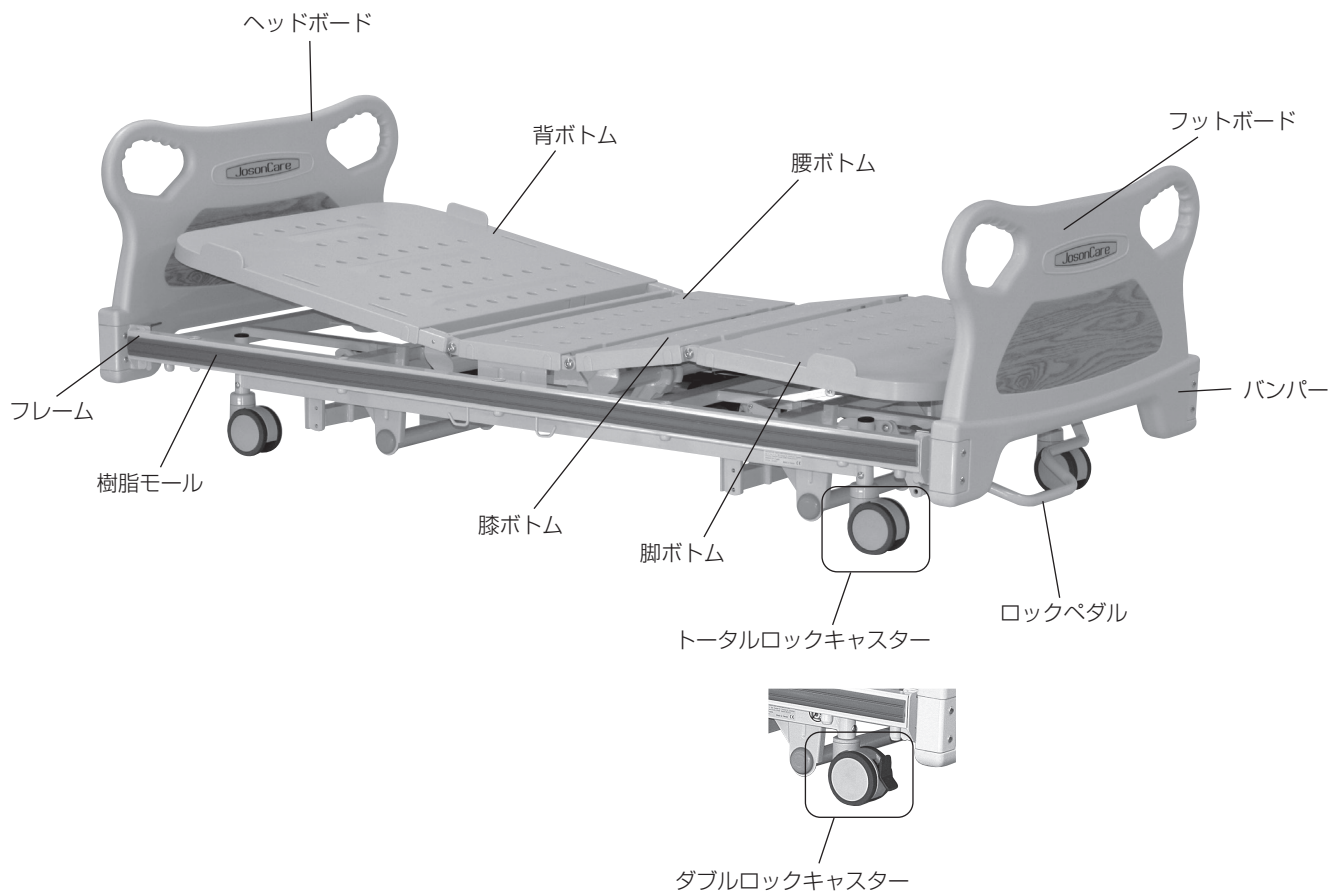
- この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
- 『安全上のご注意』はご使用前に必ずお読みください。
- この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

目次

○ 各部の名称と警告マーク	1
○ 安全上のご注意	2～5
○ ベッド設置時のご注意	5
○ ベッドの動き	6
○ ベッドの取扱い	6～11
1. ベッドご使用前の確認	6・7
2. ベッドの操作	8～11
3. ベッドの搬送	12
4. 停電時の取扱い	12
○ 清掃時の取扱い	12
○ ベッド備品の取扱い	13～13
1. ベッド備品の安全上のご注意	13
2. 適合オプションについて	14～17
3. テーブルの取扱い	18
○ サービスご連絡前の確認	19
○ アフターサービスについて	20
○ ベッドの仕様	21

各部の名称と警告マーク

1. 各部の名称



2. 警告マーク

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りいただき正しくお使いください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または家屋・家財などの物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

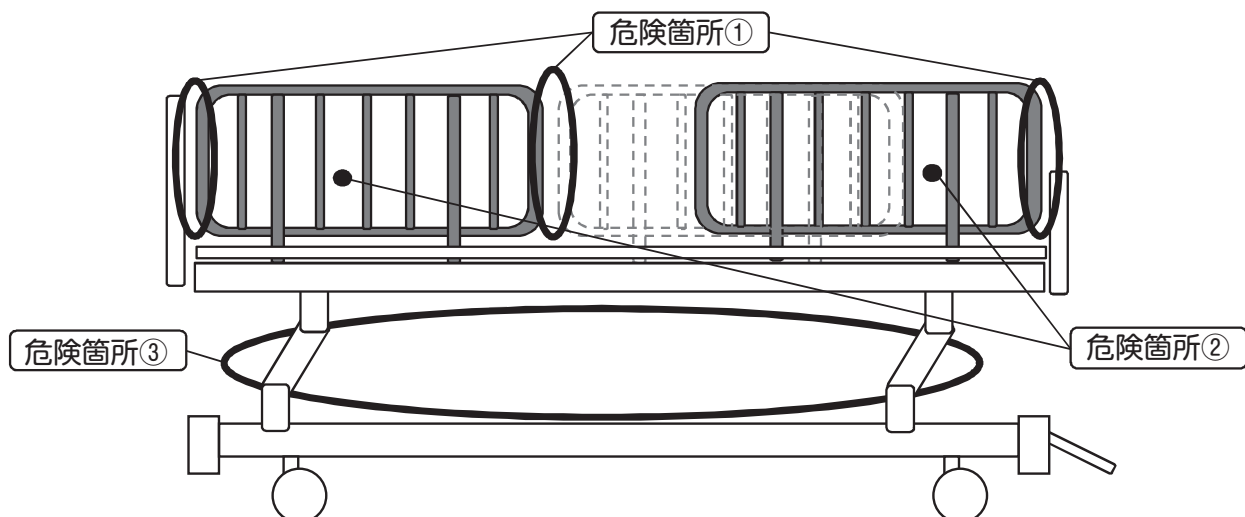


このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

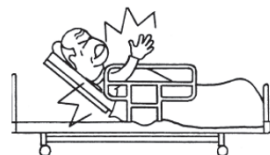
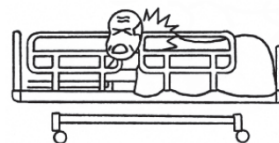
ジョーソンケアベッドシリーズは、病院や施設などの医療機関でのご使用を目的として設計・製造されています。ここでは、ジョーソンケアベッドシリーズの取扱いに関する全般的な「警告・注意」を示します。

又、下記の「警告」は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。事故を未然に防止するため必ずお守りください。



警告

-  **危険箇所①**
 サイドレールどうしのすき間や、サイドレールとヘッドボードまたはサイドレールとフットボードのすき間に頭や首、肩などが入らないように注意してください。
 すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。
-  **危険箇所②**
 サイドレール、介助バーのパイプ間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。
 パイプの間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。
-  **危険箇所③**
 ベッドを操作する時は、背ボトム・膝・足ボトムの下やベッドの下に体や手足を入れないでください。
 特に、幼児はベッドに近づけないでください。
 ボトムやベッド全体が降下する時、ボトムやフレームに挟まれて、重傷を負う恐れがあります。
-  **危険箇所③**
 可動部分（フレームやボトムの下）に手や足を入れないでください。
 はさまれて、ケガをする恐れがあります。
-  **危険箇所③**
 ベッドの高さを変えるときは、介護者の足先に注意をしてください。
 はさまれて、ケガをする恐れがあります。

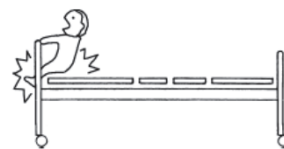


警告



ベッドの上で遊ばないでください。ヘッド・フットボードおよびヘッド・フットフレーム、本体フレームなどのすき間に手や足がはさまらないように注意してください。

すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



ベッドを操作するときは、12歳以下の子供をベッドに近付けないでください。

目を離れたすきにベッド下部等にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



各部を操作する時は、手指を挟まないでください。ケガの恐れがあります。



ベッドの上で立ち上がったり、とびはねたりしないでください。

転落して、ケガの恐れがあります。



背・膝ボトムが上がっている状態および足上げの状態、その部分に腰掛けしないでください。

転落して、ケガの恐れがあります。



サイドレール・介助バー・オーバーテーブル等にぶら下がったり、のったりしないでください。

転落して、ケガをする恐れがあります。



電源プラグを抜く時は、電源プラグを持って抜いてください。〈電動ベッド〉

感電する恐れがあります。



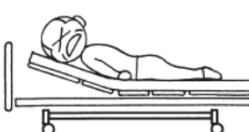
誤操作を防止するため、12歳以下の子供や操作を理解できない人が1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグをその都度抜いてください。〈電動ベッド〉

誤操作による事故を未然に防いでください。



うつぶせ姿勢で背上げ、膝上げ操作をしないでください。

ケガの恐れがあります。



頭側・足側を逆にして寝て、背上げ・膝上げ操作をしないでください。

ケガの恐れがあります。



電源コードプラグのほこりは定期的に取りってください。

〈電動ベッド〉

電源プラグにほこり等がたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



ベッドに付いている警告ラベルは、はがしたり、消したりしないでください。

危険箇所に気付かず、ケガの原因になります。



警告



操作を理解できない人にベッドを操作させないでください。
誤操作によるケガの原因になります。



電源は交流 100V を使用し、電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。
100V 以外の電源や電源プラグの差し込みが不確実のままご使用になると、火災や感電、故障の原因になります。



濡れた手でベッドを操作しないでください。
感電する恐れがあります。



アクチュエーターやコントロールボックス・手元スイッチに液体をこぼさないでください。
感電する恐れがあります。万一こぼしてしまった場合、電源プラグをコンセントから抜きサービスの点検をお受けください。



手元スイッチコードや電源コードを引っ張ったり、折り曲げたり、踏みつけたりしないでください。
傷んだまま使用すると、感電やショート、火災の原因になります。



お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
不意の作動によるケガの原因になります。



ベッドに人が寝ている時は、サイドレールを取り付けてください。
ベッドから転落して、ケガをする恐れがあります。



治療中の人は、医師に相談してから使用してください。
背や足上げ操作により、治療中の症状を悪化させることがあります。



ベッドを分解したり、改造しないでください。
感電や火災、誤動作の原因になります。

注意



ベッドの回りに作動に障害となるものを置かないでください。
注意器物破損の原因になります。



2人以上の人が乗ったり、強い衝撃を与えないでください。
ベッドの故障の原因になります。



背ボトムや脚ボトムを上げた状態で、その部分に腰掛けしないでください。
ベッドの故障の原因になります。

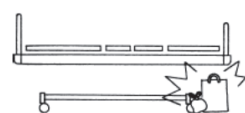
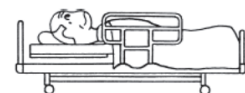


ベッドを連続して作動させないでください。



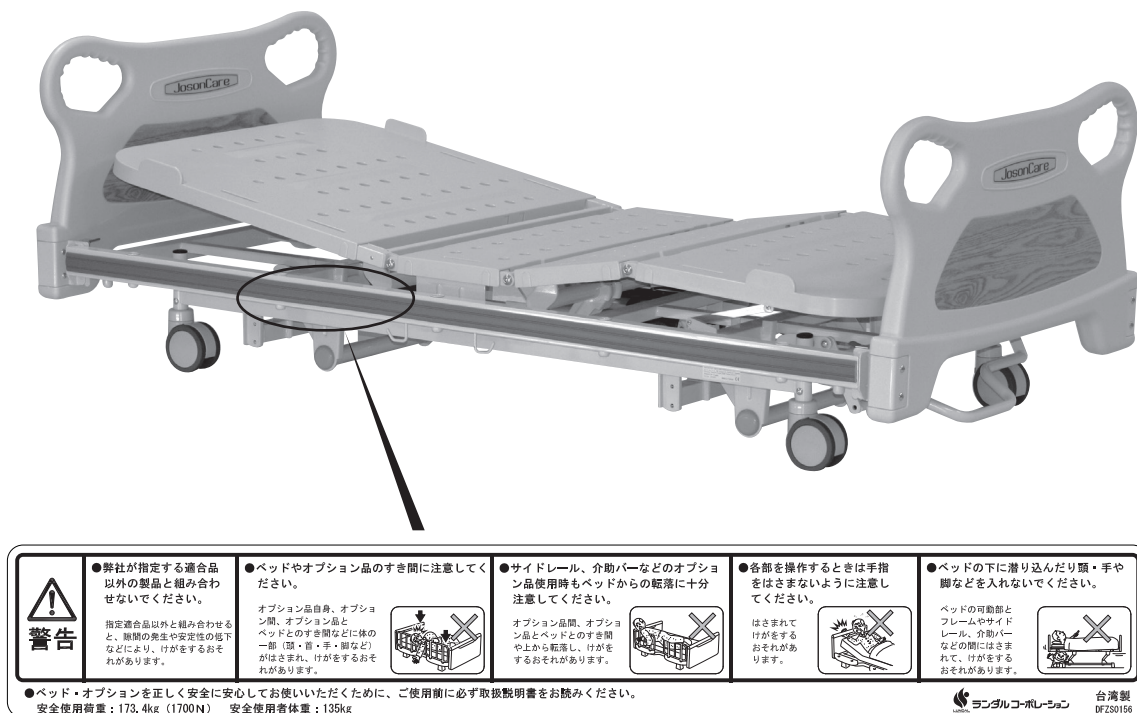
ベッドに異常を感じたら使用を一時中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店へご連絡ください。
そのままご使用いただくと、ベッドの故障の原因になります。

お願い



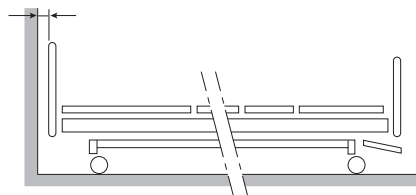
取扱いに関する「警告・注意」は、ベッドにもラベルで付いています。ラベルの張り付け位置および種類を下記に示します。

※ラベルは、はがさないでください。



ベッド設置時のご注意

2cm以上離す



※壁にコンセントなどがある場合は、当たらない位置まで離すか、よけて設置してください。



■ヘッドボードを壁側に置く

(ハイロー調節時、壁に障害物がないことを確認して) 壁から2cm以上離してください。

■フットボードを壁側に置く

※トータルロックの操作ができないためフットボードを壁側に置かないでください。

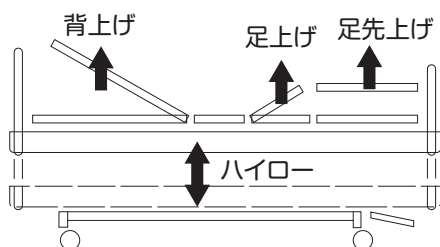
■ベッドサイドを壁側に置く

(ハイロー調節時、壁に障害物がないことを確認して) 壁から10cm以上離してください。

■ベッド⇄ベッドまたはキャビネットの空間

車椅子が通れる程度(800mm以上) 離してください。

ベッドの動き



■背上げ

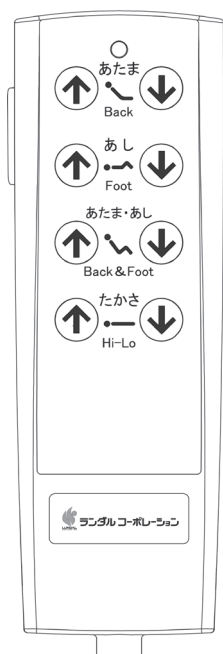
手元スイッチ操作で背ボトムに 0 ～ 72° の範囲で傾斜がつけられます。

■足上げ

手元スイッチ操作で脚ボトムに 0 ～ 30° の範囲で傾斜がつけられます。また、足先が連動して上がります。

■ハイロー

手元スイッチ操作でベッドの高さが 315 ～ 625mm の範囲で調節できます。



← 背上げ操作…『あたま』ボタン

← 足上げ操作…『あし』ボタン

← 背・足上げ連動操作…『あたま・あし』ボタン

← ハイロー操作…『たかさ』ボタン

ベッドの取扱い

1. ベッドご使用前の確認

(1) 設置状況の確認

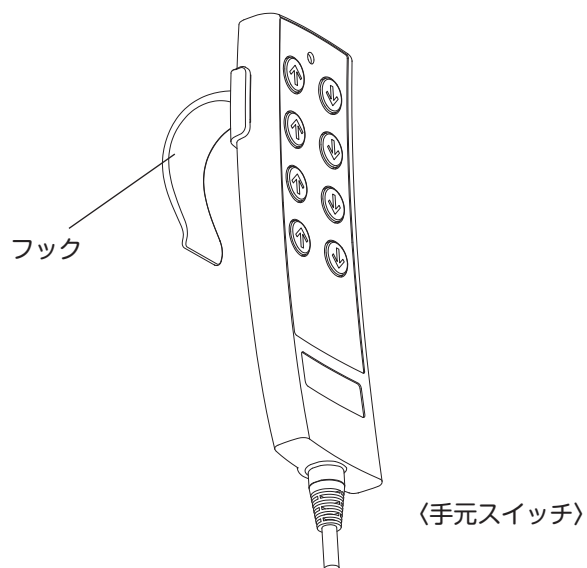
- ・ 障害物がないことを確認してください。

(2) ベッド状態の確認

- ・ 梱包用のビニール、紐が残っていないことを確認してください。

(3) ご使用前の作動確認

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 - ②背上げ・足上げ・ハイローを上限⇄下限の位置まで動かして異音がなくスムーズに作動することを確認してください。
- ※手元スイッチのフック部分をヘッドボード又はサイドレールの上部外側にセットしてご使用してください。



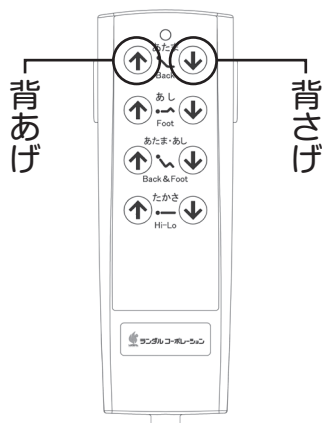
警告

電源は 100V を使用し、電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
100V 以外の電源や電源プラグの差し込みが不確実のままご使用になると、火災や感電、故障の原因になります。

2. ベッドの操作

(1) 背上げ操作

[手元スイッチ操作]



① 背を上げる

『あたま』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

② 背を下げる

『あたま』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限で、自動停止します。



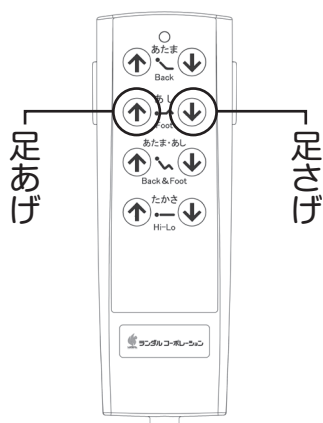
警告

背ボトムの下に体や手足を入れないでください。

背ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

(2) 足上げ操作

[手元スイッチ操作]



① 足を上げる

『あし』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

② 足を下げる

『あし』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限で、自動停止します。



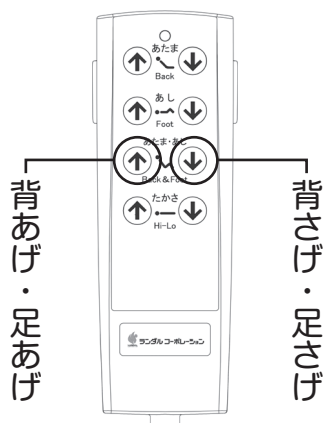
警告

脚・脚ボトムの下に体や手足を入れないでください。

脚・足ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

(3) 背・足上げ連動操作

[手元スイッチ操作]



- ① 背と足を同時に上げる
『あたま・あし』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。
- ② 背と足を同時に下げる
『あたま・あし』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限で、自動停止します。

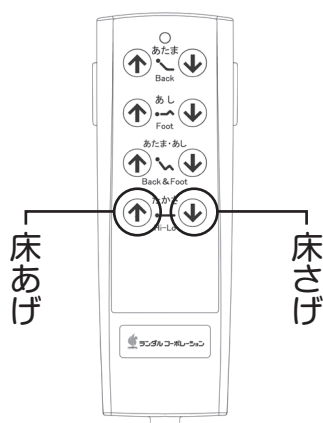


警告

背・膝・脚ボトムの下に体や手足を入れないでください。
背・膝・脚ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

(4) ハイロー操作

[手元スイッチ操作]



- ① ベッドを高くする
『たかさ』ボタンの▲「あがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。
- ② ベッドを低くする
『たかさ』ボタンの▼「さがる」を指で押し続けてください。ボタンを放すと任意の位置で止まります。

※上限と下限で、自動停止します。



警告

ベッドの下に体や手足を入れないでください。
ベッドが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

(4) キャスターのロック

【トータルロックキャスター】

※トータルロックキャスターは、1カ所のペダル操作で4輪をロックすることができます。

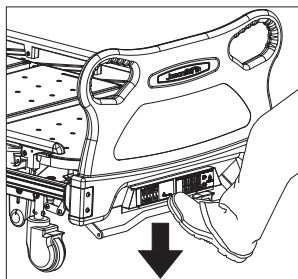
① キャスターをロックする

フットボード下部にあるロックペダルを足で踏んで下へ押し下げてください。

② キャスターのロックを解除する

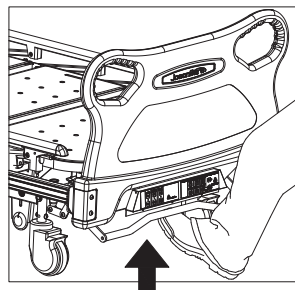
フットボード下部にあるロックペダルを足先で上へ引き上げてください。

〈ロックする〉



下へ下げる

〈ロックを解除する〉



上へ押し上げる



警告

搬送時以外は、キャスターをロックしてください。
ベッドが動いて、ケガの原因になります。

【ダブルロックキャスター】

※ダブルロックキャスターは、4輪全てに付いています。

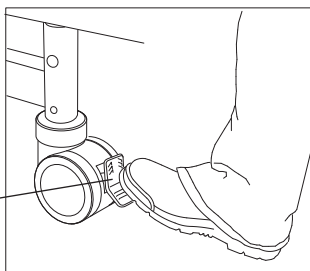
① キャスターをロックする

ロック付キャスターのロックペダルを踏んで（下げて）ください。

② キャスターのロックを解除する

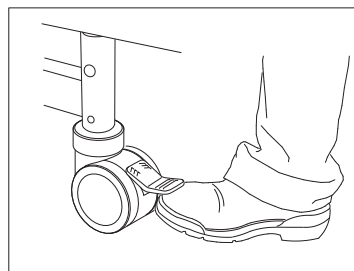
ロック付キャスターのロックペダルを上げてください。

〈ロックする〉



ロックペダル

〈ロックを解除する〉



警告

搬送時以外は、キャスターをロックしてください。
ベッドが動いて、ケガの原因になります。

(5)ヘッドボード・フットボードの脱着

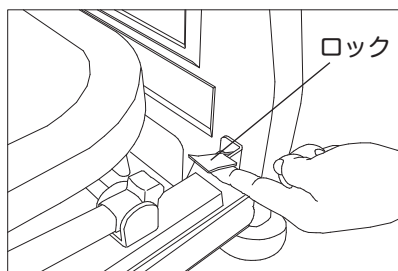
①ヘッドボード（フットボード）を取り外す

ヘッドボード（フットボード）の両側にある赤いツマミを指で押し上げ、ボードを持ち上げて外してください。

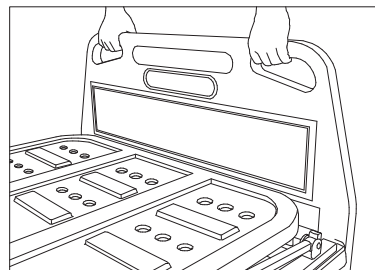
②ヘッドボード（フットボード）を取り付ける

ヘッドボード（フットボード）のブラケットをベッド本体のピンに引っ掛け、両側にある赤いツマミを指で押し下げてください。

〈ロックを外す〉



〈ボードを外す〉



※イラストは樹脂製タイプですが、取付方法は木製タイプも同様となります。



注意

ヘッドボード（フットボード）を取り外す時以外は、ロックをしてください。
ボードが外れて、ケガの原因になります。

3. ベッドの搬送

(1) ベッドを搬送する前に

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ヘッド・フットボードがロックされているか確認してください。
(ヘッド・フットボードのロック P-11)
- ③キャスターのがロックを外してください。 (キャスターのロック解除 P-10)

(2) ベッドを搬送する

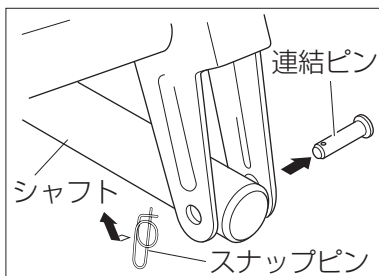
ヘッドボードおよびフットボードの上部を持って搬送してください。

お願い

- ベッドの搬送は、必ず2人で行ってください。
- サイドレールを持って搬送しないでください。
- 床面の大きな段差等はできるだけさけて搬送してください。
※ベッドの高さを少し高くして、搬送してください。
ベッドの故障の原因になります。

4. 停電時の取扱い

ボトムを起こすと図のような連結部があります。連結部を固定しているスナップピンを抜き、連結ピンを取り外します。



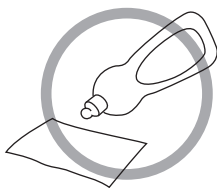
清掃時の取扱い

(1) ベッド・ベッド備品を清掃する前に

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ベッドの下部およびベッド備品は構造上突起部分が多く存在するため、手袋を着用してください。

(2) ベッド・ベッド備品を清掃する

ベッド・ベッド備品は中性洗剤またはアルコールを布に浸して清掃してください。シンナー等の溶剤を用いると、塗装面が変色する恐れがあります。また、駆動部（アクチュエーター・コントローラーボックス・手元スイッチ等）は、から拭きにとどめてください。



中性洗剤
アルコール



シンナー
ベンジン等



警告

お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
不意の作動によるケガの原因になります。

ベッド備品の取扱い

1. ベッド備品の安全上のご注意



オプションは、弊社以外の物はお使いにならないでください。
破損、転落、転倒して、ケガの原因になります。



ベッド上に人が寝ている時は、必ずサイドレールを取り付けてください。
ベッドから転落して、ケガの恐れがあります。



幼児や小さなお子様をサイドレール・介助バー・テーブルパネル等で遊ばせないでください。
ケガの原因になります。



サイドレール・介助バー・テーブルパネル等に腰掛けたり極端な荷重をかけないでください。
壊れて、ケガの恐れがあります。



サイドレール・介助バー・テーブルパネル等に付属以外の部品を使ったり改造しないでください。
破損の原因になります。



サイドレール・介助バーのパイプの間やすき間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。
すき間に挟まれて、死亡、重傷の恐れがあります。



サイドレールを持って起き上ったり、ベッドを搬送しないでください。
変形して、ケガの原因になります。



テーブルパネル・サイドテーブルをご使用の場合は、テーブルパネル・サイドテーブルをベッドから必ず取り外してベッドの各操作を行ってください。
テーブルが倒れたり、テーブルの上の物が倒れて、ケガや器物破損の恐れがあります。



サイドテーブルのノブは、確実に締め付けてください。
天板が落下して、ケガや器物破損の恐れがあります。



介助バーご使用時には、スイングアームがしっかり固定されているか確かめてご使用してください。
ケガの原因になります。



介助バー本体およびスイングアームのすき間に手、腕、首、足等を入れないでください。
すき間に挟まれて、ケガの恐れがあります。



介助バーのロックレバーがフリーの状態でご使用しないでください。
ケガの原因になります。

2. 適合オプションについて



- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
各オプションの品番は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。
- 各オプションの適合表に記載の適合品以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- 必ず各オプションの取扱説明書をお読みください。

■適合表

製 品 名	品 番	ページ
さしこみサイドレール	CAS-143W, CAS-178W, CAS-178WC※ ¹ CAS-198W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-1180, CAS-800W	(別図)
固定型サイドレール	CAS-578W	(別図)
介助バー	CAC-070, CAC-080, CAC-070WC※ ² , CAC-080WC※ ²	(別図)

※¹ CAS-178WC はさしこみサイドレール CAS-178W / 378W とクッションカバー CAS-178C のセットになります。

※² CAC-070WC / CAC-080WC は介助バー CAC-070 / 080 とクッションカバー CAC-070C / 080C のセットになります。

■マットレス

ベッドサイズ	マットレスサイズ (mm)
83 幅レギュラー	長さ 1910mm 幅 830mm 厚さ 60mm 以上 160mm 以下

- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

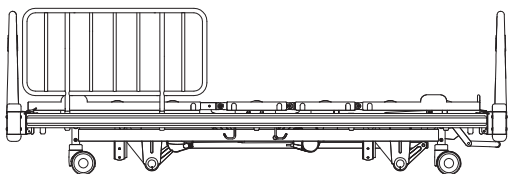
■ サイドレール・介助バーの取り付けについて

サイドレール、介助バーのベッドへの取付けは下記の図表を参照して、正しい組合わせで、また正しい向きで取付けてください。

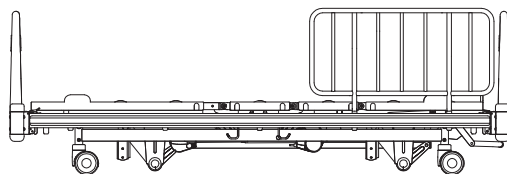
※サイドレール、介助バーはベッドのサイズに合わせてお選びください。

※サイドレールレギュラーのイラストはCAS-178Wになります。

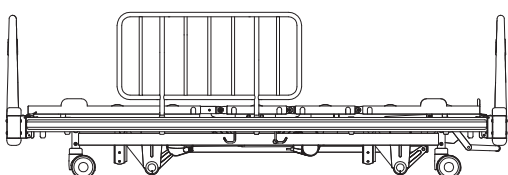
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



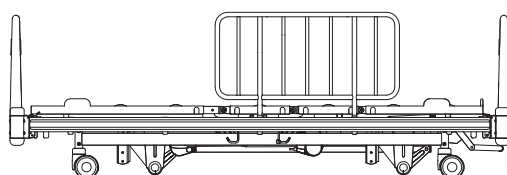
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



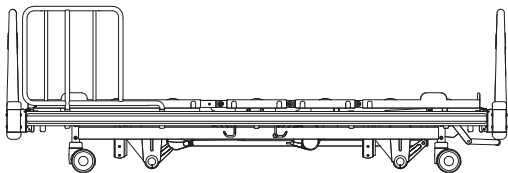
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



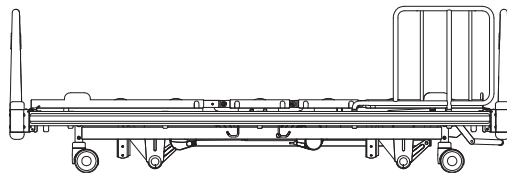
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



サイドレールS
(CAS-143W)

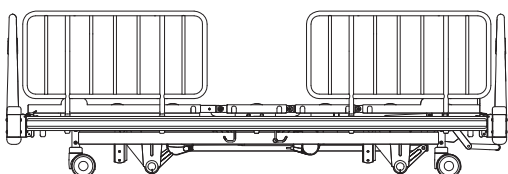


サイドレールS
(CAS-143W)



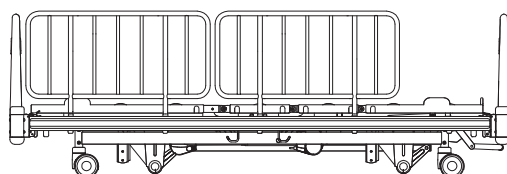
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)



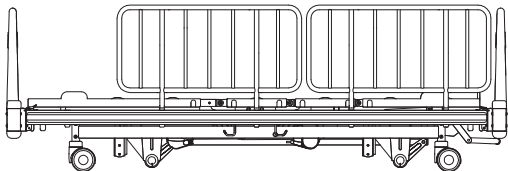
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)



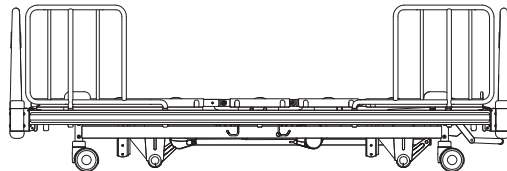
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)



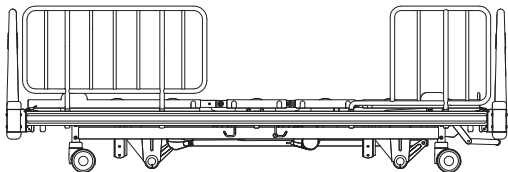
サイドレールS
(CAS-143W)

サイドレールS
(CAS-143W)



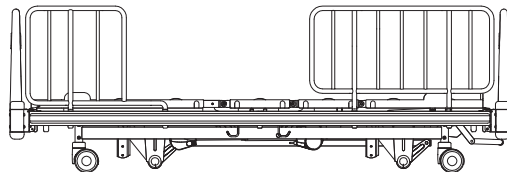
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールS
(CAS-143W)

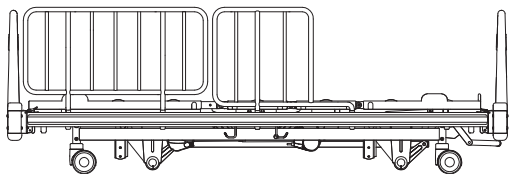


サイドレールS
(CAS-143W)

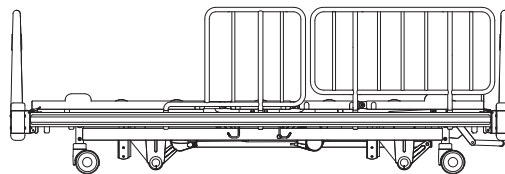
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)



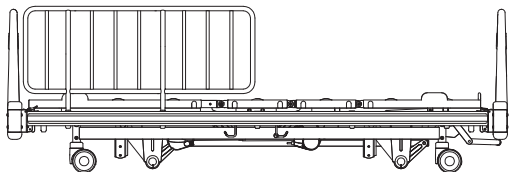
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W) サイドレールS
(CAS-143W)



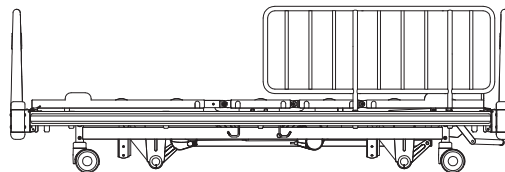
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



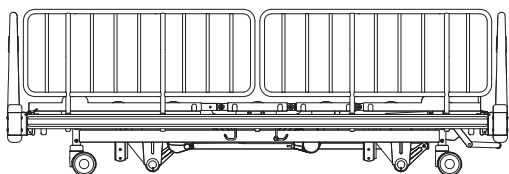
サイドレールA
(CAS-198W)



サイドレールA
(CAS-198W)

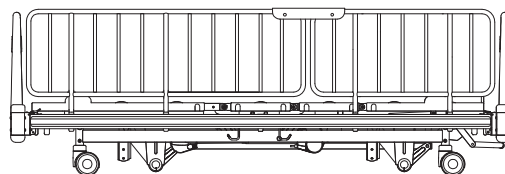


サイドレールA
(CAS-198W)



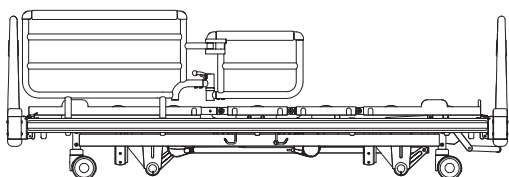
サイドレールA
(CAS-198W)

サイドレールロング
(CAS-1180)

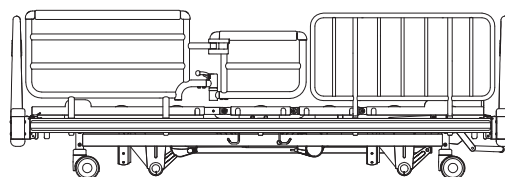


サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

介助バー
(CAC-070, CAC-080)

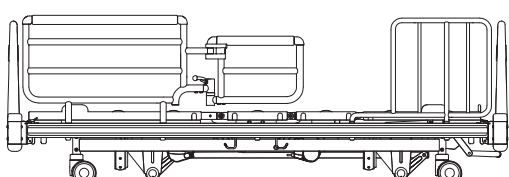


介助バー
(CAC-070, CAC-080)



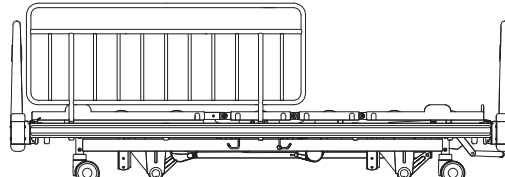
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

介助バー
(CAC-070, CAC-080)

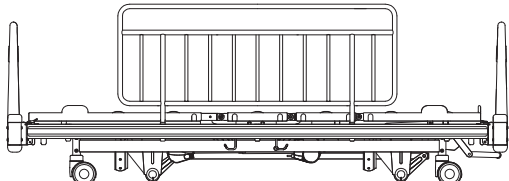


サイドレールS
(CAS-143W)

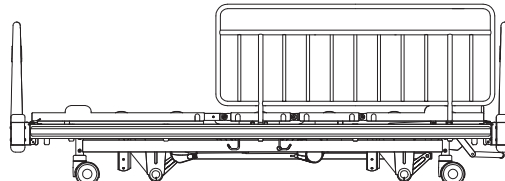
サイドレール800
(CAS-800W)



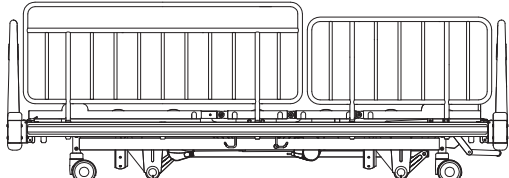
サイドレール800
(CAS-800W)



サイドレール800
(CAS-800W)

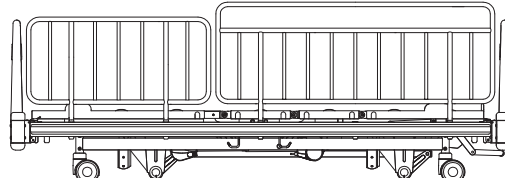


サイドレール800
(CAS-800W)



サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

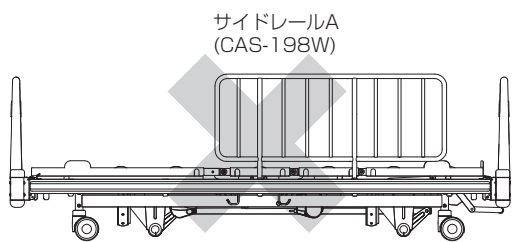


サイドレール800
(CAS-800W)

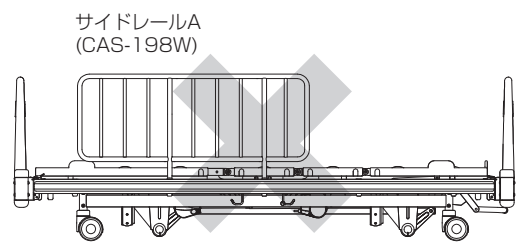


警告

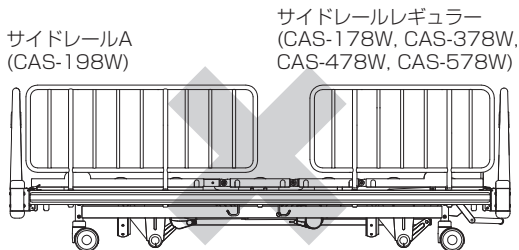
- ・ オプション間のすき間やオプションとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。
- ・ 各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ・ サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合は介助バーをお使いください。
- ・ 誤った組み合わせと取付け位置では、意図せぬすき間の発生によりけがをするおそれがあります。下記図表の組み合わせでは使用しないでください。



サイドレールA
(CAS-198W)

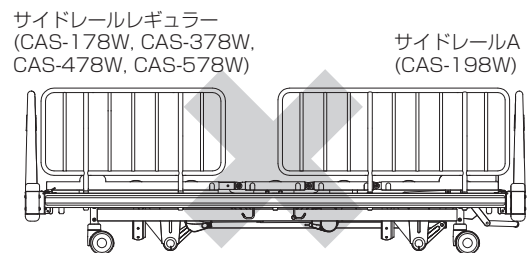


サイドレールA
(CAS-198W)



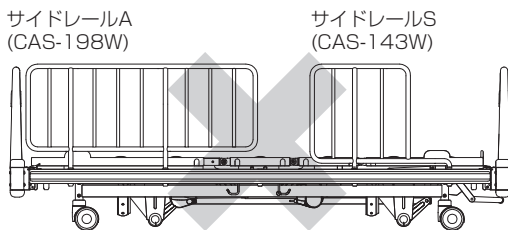
サイドレールA
(CAS-198W)

サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)



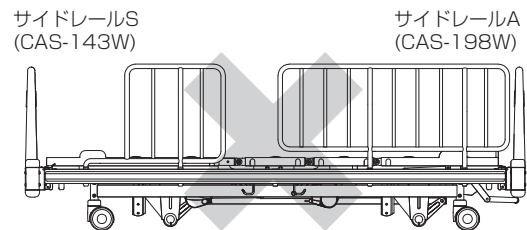
サイドレールレギュラー
(CAS-178W, CAS-378W,
CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールA
(CAS-198W)



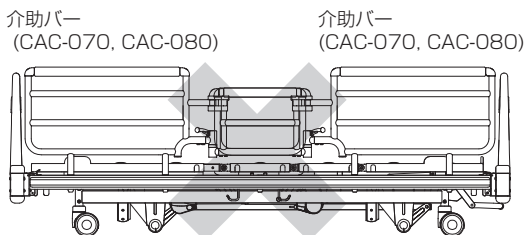
サイドレールA
(CAS-198W)

サイドレールS
(CAS-143W)



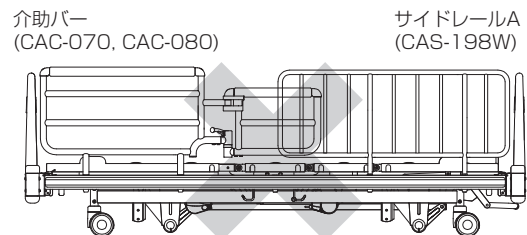
サイドレールS
(CAS-143W)

サイドレールA
(CAS-198W)



介助バー
(CAC-070, CAC-080)

介助バー
(CAC-070, CAC-080)



介助バー
(CAC-070, CAC-080)

サイドレールA
(CAS-198W)

3. テーブルの取扱い

(1) ベッドテーブルの取扱い

- ① 膝で突き上げないでください。
- ② 60℃以上の熱いものは乗せないでください。
- ③ ベッドを作動する時は、一度テーブルを外してから行うか、挟まれないようにご注意ください。



(オーバーテーブル)



(ベッドサイドテーブル)



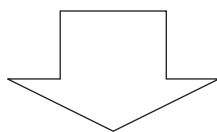
警告

ノブ式のベッドテーブルは、ご使用前にノブを確実に締め付けてください。
天板が落下して、ケガや器物破損の恐れがあります。

サービスご連絡前の確認

サービスへ御連絡いただく前に、下記の項目についてご確認ください。

症状	チェック	対処
●ベッドの動作が遅い	●電源プラグがコンセントに確実に、差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに確実に、差し込んでください。
	●コンセントに電気が通電していますか？	●他の電気器具を使って、ご確認ください。
●手元スイッチを押しても動かない。「あたま」・「あし」・「たかさ」を押しても作動しない。	●電源プラグがコンセントに確実に、差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●ベッドの動きが途中で止まる。	●手元スイッチのボタンの中心をしっかり押していますか？	●中心を押して確認してください。
	●障害物にあたっていないですか？	●障害物を取り除いてください。



販売店へご連絡ください。
(症状をできるだけ詳しくお伝えください。)

販売店	TEL
-----	-----

アフターサービスについて

1. 「保証書」について

付属されている保証書に必ず「お買い上げ日・お客様のお名前、ご住所・販売店名」などをご記入の上、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

2. 使用中に故障かな？と思われる時は

この取扱説明書の「サービスご連絡前の確認」にそって確認していただいても直らない時は、お買い上げの販売店にご連絡してください。なお、その際下記の内容をご連絡ください。

- (1) 型式名
- (2) お買い上げ日
- (3) 症状（できるだけ詳しく）
- (4) 施設名、お名前、ご住所、電話番号

3. 保証について

保証期間はお買い上げいただいた日から1年間です。その期間中は無償で修理いたします。保証期間終了後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談いただき、修理により使用出来るようであればご要望により有償で修理いたします。又、アフターサービスについてご不明な事がございましたら、弊社又はお近くの営業所にお問い合わせください。

4. 部品の保有期間について

弊社では、ベッドの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年としております。

保 証 書

品名／品番 ジョーソンケアベッド (B-LJ-2380T / B-LJ-2380 / B-LJ-2380TW / B-LJ-2380W)		保証期間	★ お買い上げ日 年 月 日より1年間
お客様 お名前		ご住所	〒 ()

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、ラベル類などの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

【保証規定】

1. 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
2. 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - (1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - (2) 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - (3) お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - (4) 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - (5) 保証書のご提示がない場合
 - (6) 本保証書の保証期間および販売店名の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
● This warranty is valid only in Japan
4. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ベッドの仕様

品番		B-LJ-2380T	B-LJ-2380	B-LJ-2380TW	B-LJ-2380W
ベッド全長 (mm)		2120		2070	
ベッド全幅 (mm)		977			
ベッド床高 (mm)		約 315 ～ 625			
背上げ及び膝上げ (度)		背上げ…0 ～ 72 ± 3			
		膝上げ…0 ～ 30 ± 3			
ヘッド・フットボード高さ (mm)		685 ～ 995		635 ～ 945	
製品重量 (kg)		91	89	93	91
材 質	ヘッドフットボード	ポリエチレン		MDF、ポリ合板など	
	モーターユニット	スチール製：粉体塗装仕上げ			
	ベースユニット				
	幅出しユニット				
	ボトムユニット				
安全使用者体重		135kg			
安全使用荷重		173.4kg (1700N)			
電圧 (V)		100			
電流 (A)		1.5			
モーター消費電力 (W)		130 (モーター 1 台あたり)			
最大連続使用時間※		約 2 分 (休止時間 約 18 分※)			
マットレスサイズ (mm)		830 × 1910			

※ベッドを最大連続使用時間（約 2 分）動作させた場合、電装品を加熱から保護するための休止時間。

ランドルコーポレーション事業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社	〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-7-1 TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712
特販部	〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-7-1 TEL.048-475-3662 FAX.048-475-3712
本社工場	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430
札幌営業所	〒065-0042 北海道札幌市東区本町2条3-10-1-142 TEL.011-787-5100 FAX.011-780-5117
青森営業所	〒030-0921 青森県青森市原別8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
八戸サテライト	〒039-1103 青森県八戸市長苗代1-5-8 TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213
秋田サテライト	〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反170-81 TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862
岩手営業所	〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-10 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉営業所	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒193-0824 東京都八王子市長房町22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒120-0005 東京都足立区綾瀬1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園2-9-21 RTサンライト101号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜営業所	〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒485-0059 愛知県小牧市小木東1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒578-0981 大阪府東大阪市島之内2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
兵庫サテライト	〒651-2132 兵庫県神戸市西区森友1-157 TEL.078-995-5982 FAX.078-995-5984
岡山サテライト	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066
福岡営業所	〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台2-22-17 フォーサイト桜台Social House 101号室 TEL.092-924-8586 FAX.092-924-8587